

平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成29年12月12日

代表者 角田 真二

研究課題名	女子大生におけるスマートフォンのアクティブな利用法と豊かなコミュニケーションを導くためのガイドラインの作成～プリシード・プロシードモデルを用いた課題抽出を基礎にして～
研究期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
共同研究者	阿部 史, 泉 直子, 井上 久美子, 向後 朋美
1. 今年度の研究概要	
<p>学内で倫理審査を受け、過去に実施した調査データを基に考察を進めた。下記のように、具体的な成果に結びつけることができた。</p> <p>著者らは、スマートフォン(以下、スマホ)などの情報機器使用者の急速な増加に伴い表出してきた多様な問題を解決することを目指している。女子大学生の生活におけるスマホなどの情報機器の使用実態を調査し、本研究ではLINE(ただし、必要に応じてTwitterも含める)に限定して考察した結果を、LINEと一体化した「女子大学生の1日」として描き、興味深い知見を発表することができた。</p> <p>女子大学生を惹きつけるLINEの魅力と危険、平成29年3月、情報処理学会第79回全国大会、学生セッション5ZD-05、総頁数；2, 4—pp. 819—820 として発表済</p> <p>発表者：佐藤佳奈(学部3年生)、角田真二、向後朋美、阿部史、井上久美子、泉直子</p>	

2. 研究の成果

具体的な成果については、論文を添付する。

https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&all=LINE%E3%81%AE%E9%AD%85%E5%8A%9B%E3%81%A8%E5%8D%B1%E9%99%BA&count=20&order=0&pn=1&st=1&page_id=13&block_id=8

3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

女子大学生を惹きつける LINE の魅力と危険，平成 29 年 3 月，情報処理学会第 79 回全国大会，学生セッション 5ZD-05，総頁数；2，p.819－820，発表者：佐藤佳奈（学部 3 年生），角田真二，向後朋美，阿部史，井上久美子，泉直子

平成 28 年度(2016 年) 研究概要

研究所・部門	プロジェクト研究
研究課題名	女子大生におけるスマートフォンのアクティブな利用法と豊かなコミュニケーションを導くためのガイドラインの作成～プリシード・プロシードモデルを用いた課題抽出を基礎にして～
研究代表者	角田 真二
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	阿部 史, 泉 直子, 井上 久美子, 向後 朋美

1. 研究成果取組状況

(1) 国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済	女子大学生を惹きつける LINE の魅力と危険, 平成 29 年 3 月 情報処理学会第 79 回全国大会, 学生セッション 5ZD-05, 総頁数; 2, 4-pp. 819-820 として発表済 発表者: 佐藤佳奈(学部 3 年生), 角田真二, 向後朋美, 阿部史, 井上久美子, 泉直子	
発表予定		

(2) 雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済		
投稿中 投稿予定		

(3) 図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	
出版予定	

(4) シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5) 本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名